

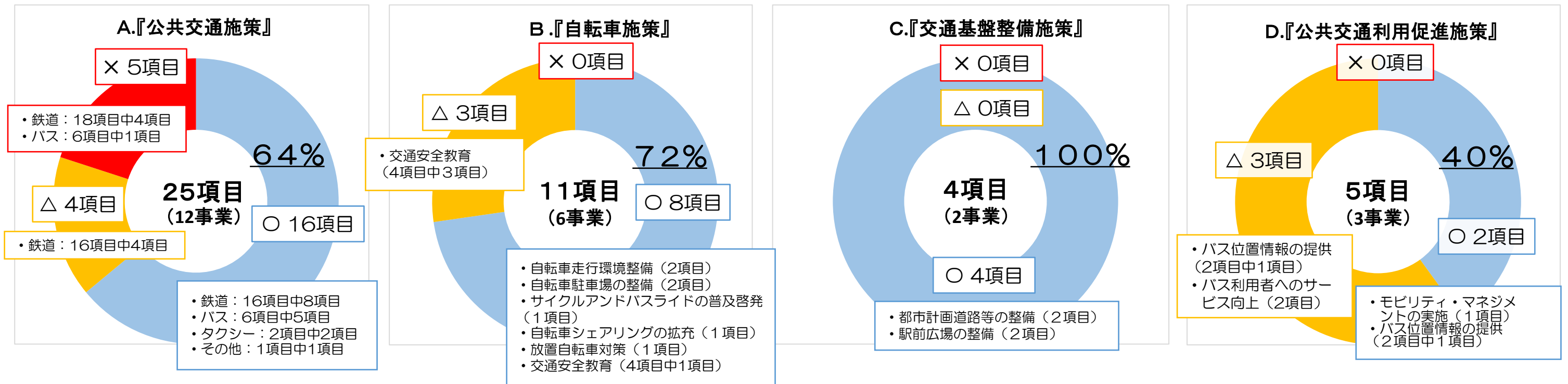
足立区総合交通計画推進会議名簿

	区分	団体名
1	学識経験者(会長)	東京理科大学
2	行政機関	国土交通省関東運輸局東京運輸支局
3		東京都都市整備局都市基盤部
4	鉄道事業者	東日本旅客鉄道株式会社
5		首都圏新都市鉄道株式会社
6		東京地下鉄株式会社
7		東武鉄道株式会社
8		京成電鉄株式会社
9		東京都交通局電車部
10	バス事業者	東京都交通局自動車部
11		国際興業株式会社
12		東武バスセントラル株式会社
13		京成バス株式会社
14		日立自動車交通株式会社
15		朝日自動車株式会社
16		株式会社新日本観光自動車
17	タクシー事業者	一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会
18	警察等交通管理者	警視庁 交通部
19		警視庁千住警察署
20		警視庁西新井警察署
21		警視庁竹の塚警察署
22		警視庁綾瀬警察署
23	道路管理者	国土交通省関東地方整備局東京国道事務所
24		東京都建設局第六建設事務所
25	区議会議員	足立区議会
26		足立区議会
27		足立区議会
28		足立区議会
29		足立区議会
30	住民又は利用者	足立区障害者団体連合会
31		足立区友愛クラブ連合会
32		足立区地域保健福祉推進協議会子ども支援専門部会
33		足立区まちづくり推進委員会
34	区職員	政策経営部
35		福祉部
36		環境部
37		都市建設部
38		道路公園整備室

1 事業全体の実施状況（過年度比較）

	事業指標が位置づけられている取り組み項目の数	【○：達成】（○の割合）	【△：一部達成】（△の割合）	【×：未達成】（×の割合）
令和元年度実績	50項目（全22事業）	42項目（84%）	6項目（12%）	2項目（4%）
令和2年度実績	49項目（全23事業）	31項目（63%）	11項目（23%）	7項目（14%）
令和3年度実績	45項目（全23事業）	30項目（67%）	10項目（22%）	5項目（11%）

2 施策別の実施状況（令和3年度）



【実施結果】

・鉄道に関する項目については、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、会議やイベントが開催できず、複数の項目で達成とはならなかったが、公共施設（佐野図書館）と連携したPR展示を行うなど、新たな方法での地下鉄8号線などのPR活動を行った。

【実施結果】

・交通安全教育は、リモート講義や動画視聴も活用し1項目達成となった。例年、住区センター(子育てサロン含む)で開催される催しに合わせて、啓発活動を行っている事業については、催しがまん延防止重点措置期間により中止となり、啓発活動が困難となったため数値目標には届かなかった。

【実施結果】

・北綾瀬駅の駅前広場において、令和3年度に事業認可を取得し、事業着手した。その他の都市計画道路等については、事業期間の延伸を行ったが、用地取得や工事などを着々と進めており、全ての項目において達成することができた。

【実施結果】

・「△（一部達成）」であった、バス利用者へのサービス向上の2項目（ICカード定期券の導入、乗継割引の導入）については、各事業者検討は行っているが、費用対効果の面から、導入が難しいという現状がある。

■足立区総合交通計画で令和3年度に事業指標が位置づけられている対象事業一覧

達成状況：○達成 △一部達成 ×未実施

資料3

実施事業		事業番号	取組内容	R3年度 (目標)	R3年度 (実績)		特記事項	
分類	事業名				実績	達成状況		
A「公共交通施策」	1・鉄道	A-1-①	①事業性等の調査・研究をメトロセブン促進協議会（総会・幹事会等）で実施	3回	1回	△	令和3年7月に書面により総会を開催したが、幹事会については新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、開催することができなかった。	
			②事業性等の調査・研究を区部周辺部環状公共交通都区連絡会等で実施	2回	1回	△	令和3年5月に書面により総会を開催した。	
			③実現に向けた地域機運の醸成を図るため、イベント等でのPR活動を実施	4回	0回	×	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、PR活動を予定していたイベントが中止となってしまったため、実施できなかった。	
		A-1-②	地下鉄8号線	①沿線地域住民、議会及び行政が一丸となるため、地下鉄8号線整備促進大会を開催	1回	0回	×	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度に続いて令和3年度の促進大会は開催できなかった。
				②地下鉄8号線沿線自治体と協調して取組を行うため、他自治体の促進会議で情報共有・交換を実施	3回	0回	×	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度に続いて令和3年度についても他の関係自治体において促進会議は開催されなかった。
				③事業採算性の確保に向けた調査委託を実施	隔年	0回	×	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、公共交通機関の利用状況が低調であったため、効果的な調査結果を得ることが難しいことから、調査の実施を見送った。
				④実現に向けた地域機運の醸成を図るため、イベント等でのPR活動を実施	4回	1回	△	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、PR活動を予定していた大型イベントが中止となってしまったが、新たな試みとして計画線沿線の公共施設（佐野図書館）と連携したPR展示を実施した。
		A-1-③	常磐新線	自治体間の連携や鉄道事業者への要請等を沿線都市連絡協議会で実施	5回	4回	△	総会（令和3年5月21日Web開催）、第1回幹事会（令和3年12月23日書面開催）、第2回幹事会（令和4年3月18日書面開催）、勉強会・意見交換会（令和4年3月18日書面開催）の計4回実施。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、研修会が1回中止となった。
				日暮里・舎人ライナー	②オフピーク通勤を促進するキャンペーンを実施	実施	実施	○
		A-1-③	つくばエクスプレス	③オフピーク通勤を促進するキャンペーンの情報発信	2回以上	通年	○	区ホームページにおいて、混雑緩和を促進する「時差Biz」を周知し、混雑緩和に関する情報発信を行った。
				④8両編成化事業を実施（現6両）	事業中	事業中	○	8両編成化に向け、浅草駅、南千住駅の駅ホーム延伸工事を行った。なお、区内の駅については、令和4年度から青井駅、六町駅のホーム延伸工事を進めていく。
				⑤オフピーク通勤を促進するキャンペーンを実施	実施	実施	○	「春のスムーズBiz実践期間（令和3年3月1日～令和3年5月9日）」に合わせて、都の依頼に応じ取り組みを実施した。
		A-1-④	竹ノ塚駅 北千住駅	⑥オフピーク通勤を促進するキャンペーンについて情報発信	2回以上	通年	○	区ホームページにおいて、混雑緩和を促進する「時差Biz」を周知し、混雑緩和に関する情報発信を行った。
				④踏切解消（竹ノ塚駅、北千住駅）	踏切解消完了	踏切解消完了	○	令和4年3月20日に上下緩行線（普通列車）が高架化。これにより、竹ノ塚駅付近にある2箇所の踏切が解消した。
		A-1-④	竹ノ塚駅 北千住駅	鉄道事業者と連携し、連続立体交差事業を実施	検討	検討実施	○	鉄道と道路の立体交差化の長期対策を検討するとともに、短期対策として交通の分散化の課題整理を行った。
鉄道と道路の立体交差化を引き続き検討	検討			検討実施	○			
A-1-⑤	堀切駅のバリアフリー化を進めるためにエレベーター設置を引き続き検討	検討	事業中	○	堀切駅跨線人道橋の架け替えに合わせてバリアフリー化のための架替設計委託を発注し、検討を開始した。			

■足立区総合交通計画で令和3年度に事業指標が位置づけられている対象事業一覧

達成状況：○達成 △一部達成 ×未実施

資料3

実施事業		事業番号	取組内容	R3年度 (目標)	R3年度 (実績)		特記事項	
分類	事業名				実績	達成状況		
A 『公共交通施策』	2 バス	A-2-①	①新たなバス需要が見込まれる文教大学、東京女子医大開設に合わせてバス路線の新設や再編を実施	運行開始	運行開始	○	東京女子医科大学附属足立医療センター開院に向け、4事業者8路線のバス路線新設・再編等を行い、令和4年1月4日に乗り入れを開始した。	
			②都市計画道路整備や新たな拠点開発などに合わせたバス路線再編等の実現のために、事業進捗に関する情報提供や路線変更の意向把握などバス事業者と連携して検討	実施	実施	○	新たな拠点開発の動向について、逐一情報収集を行い、それに伴うバスの乗り入れについて、バス事業者の意向把握を実施した。	
		A-2-②	②交通不便地域のバス路線導入	バスの検証運行実績等を基に、本格運行を実施	検証運行	検証運行実施	○	花畑周辺地域公共交通検討会にて、運行計画案を作成し、令和3年10月1日より六町駅～花畑桑袋団地間で検証運行（最大2年間、2期連続で収支率24%をクリアすると本格運行へ移行）を開始した。 また、社会実験バスの愛称については、文教大学の学生から提案された複数の愛称案を、区ホームページにて投票を行い、得票数の最も多かった「ブンブン号」に決定した。
		A-2-③	③バスのバリアフリー化	ノンステップバスを順次導入	バスの買い替えにあわせて導入	バスの買い替えにあわせて導入	○	ワンステップバスが一部残っているものの、大半の路線がノンステップバスで運行している。 また、一部事業者では、フルフラットバスが導入されるなどバスのバリアフリー化が進んでいる。
	A-2-④	④バス停の利用環境整備	「はるかぜ」のバス停にベンチや上屋、点字ブロックを設置（駅や公共施設、病院等の施設周辺のバス停に優先的に設置）	ベンチ:15箇所 点字:75箇所 (R1から3カ年)	ベンチ:5箇所 点字:33箇所 (R3実績)	○	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったため、令和3年度は予定より多く、ベンチや上屋、点字ブロックの整備を行った。また、令和4年1月の東京女子医科大学附属足立医療センター開院に伴い、利用者の増加が予想される病院周辺のバス停を優先して整備した。	
			「路線バス」のバス停に広告付上屋等を整備	実施	未実施	×	令和3年度はバス事業者が新たに上屋を整備した場所はなかった。	
	3 タクシー	A-3-①	①ユニバーサルデザインタクシーの導入	ユニバーサルデザインタクシー（スロープ付）を導入	継続導入	継続導入	○	・タクシー事業者において、ユニバーサルデザインタクシーが順次進められ、東京都内において14,419台導入済み（令和3年度末時点）。 ※東京ハイヤー・タクシー協会会員会社における車両数
		A-3-②	②配車アプリ活用等によるタクシーの利便性向上	配車を実現できるようスマホ配車アプリを導入	導入	導入	○	・誰もがタクシーを快適に利用できるように、タクシー事業者において配車アプリの導入を進めており、東京ハイヤー・タクシー協会会員295社で25,318台が導入済み（令和3年度末時点）。
	4 その他	A-4-①	①多様な交通手段の導入	バス以外の交通手段を導入	運行計画の検討	運行計画の検討実施	○	バス以外の多様な交通手段の導入に向け、他自治体が行うバス以外の交通手段についてヒアリングを行った。また、過去のアンケートにおいて、交通不便度が高い地域とされた入谷地区及び鹿浜地区に対して、交通に関する課題やニーズを把握するため、町会自治会連合会へのヒアリングに着手した。
	B 『自転車施策』	①自転車走行環境整備	B-①	自転車専用通行帯、ナビライン、ナビマーク等の整備	花畑地区・江北地区	10,000m	12,787m	○
都市計画道路等				道路の整備に合わせ実施	1,910m	○	区では、所轄警察署の要望等により自転車事故のあった路線（補助253号、葛西用水桜通り）に自転車ナビマークを計1780m設置した。また、交通管理者が干住地域において自転車ナビマークを130m設置し、自転車ナビラインも交差点部に設置した。	
②自転車駐車場の整備		B-②	自転車の利用状況や民間自転車駐車場の設置状況を勘案して、区営の自転車駐車場の新設・改修	1箇所	1箇所	○	以前からキャンセル待ちのある江北駅西第2自転車駐車場について、道路管理者（第六建設事務所）・警視庁との協議が完了したので拡張工事を実施した。	
			「足立区民営自転車等駐車場設置補助金」制度を活用した民営自転車駐車場の新設	2箇所	2箇所	○	設置費申請2件ともに、駐輪場が特に不足している北綾瀬駅周辺地区への設置であった。	
③サイクルアンドバスライドの普及啓発	B-③	サイクルアンドバスライドに関する情報を発信	実施	実施	○	令和3年4月に新規開設された神明南自転車駐車場について、区ホームページにて周知し、利用促進に努めた。		

■足立区総合交通計画で令和3年度に事業指標が位置づけられている対象事業一覧

達成状況：○達成 △一部達成 ×未実施

資料3

実施事業		事業番号	取組内容	R3年度 (目標)	R3年度 (実績)		特記事項	
分類	事業名				実績	達成状況		
B 『自転車施策』	④自転車シェアリングの拡充	B-④	シェアサイクルを導入	実証実験	実施	○	令和4年3月末時点の区内サイクルポート数は116か所となり、令和2年2月末の59か所から約2倍に増え、ポート数の増加に伴い月平均利用回数も令和2年2月の3,629回から21,655回へと約6倍に増加した。 令和6年3月末までにさらにサイクルポートを106か所増設し、ネットワークの充実を図っていく。	
	⑤放置自転車対策	B-⑤	街頭指導員による駐り場への誘導や店舗への指導、放置自転車の撤去、自転車の施錠周知による盗難後の放置抑制を引き続き実施	実施	実施	○	街頭指導員による駐り場への誘導や店舗への指導、放置自転車の撤去、交通管理者と連携し自転車の施錠周知による盗難後の放置抑制を引き続き実施。 放置自転車対策の一環である「自転車の無料引き取り」を引き続き実施。	
	⑥交通安全教育	B-⑥	①幼稚園・保育園で正しい道路の歩き方等を学んでもらうため、交通安全教室を実施	170園	77園	△	区内の全170園の幼稚園・保育園において、区より交通安全教室実施の募集を行い、希望のあった77園の区内保育園・幼稚園にて実施（実施率45.2%）。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった園もあったことから、実施できなかった園については、反射材を配布した。	
			②小学校において、小学三年生を対象とし、「自転車安全運転免許証発行事業」による交通安全教室を実施	69校	69校	○	区内小学校全69校において、小学三年生を対象とした、「自転車安全運転免許証発行事業」による交通安全教室を実施。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためリモート講義や動画視聴を活用するなど新しい生活様式に合った方法で実施した（令和4年度は新型コロナウイルス対策を講じた上で、従来の対面で実施予定）。	
			③中・高等学校でスタントマンを活用した体験型交通安全教室を実施	14校	12校	△	区立中学校11校、都立高等学校1校でスタントマンを活用した体験型交通安全教室を実施。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中学校1校、閉校予定のため高等学校1校が中止となった。なお、中止となった中学校については後日、警察署主催のスタントマン教室を実施したため、結果的に体験することができた。	
④大人向けに（高齢者を含む）、全住区センター（子育てサロン含む）で交通啓発活動を実施	114回	2回	△	例年、住区センター（子育てサロン含む）で開催される催しに合わせて、交通安全啓発活動を行っているが、令和3年度は多くの実施日がまん延防止重点措置期間と重なり、施設の利用制限等により住区センターのイベントが中止となり、啓発活動が困難となった。 令和4年3月のまん延防止重点措置期間終了後、2箇所の住区センター（高齢者向け、子育て世代向け各1回）において、交通安全講話を実施し、反射材等を配布した。				
C 『交通基盤整備施策』	①都市計画道路等の整備	C-①	都市計画道路等の整備	補助138号 （関原三丁目～梅田五丁目）	完了	事業中	○	令和3年3月17日付で事業期間を令和7年3月31日まで延伸した。 排水施設整備工事、水道工事が完了し、続けてガス工事が予定通り工事着手し、令和4年4月に完了予定。 ガス工事完了後に電線共同溝工事に着手できるよう発注、契約した。
				区画街路14号 （西竹の塚二丁目）	事業中	事業中	○	令和3年9月13日付で事業期間を令和7年3月31日まで延伸した。 事業用地1件を取得し、用地取得率が99%となった。 また、都市基盤整備として、電線共同溝整備工事を完了した。
	②駅前広場の整備	C-②	駅前広場の整備	竹ノ塚駅西口	事業中	事業中	○	令和3年9月13日付で事業期間を令和7年3月31日まで延伸した。 事業用地1件を取得し、用地取得率が99%となった。
				竹ノ塚駅東口 西新井駅西口 北綾瀬駅	事業化 検討	検討実施・事業中	○	竹ノ塚駅東口について、URや東武鉄道と駅東西が一体となったまちづくりの検討を実施。 西新井駅西口については、駅前広場整備の基本設計の完了に合わせて事業認可取得を東京都に申請した。 北綾瀬駅については、駅前広場整備の都市計画決定（R3.4.19）し、事業認可を取得（R3.9.8）した。令和6年春頃の完成を目指し、事業着手した。

■足立区総合交通計画で令和3年度に事業指標が位置づけられている対象事業一覧

達成状況：○達成 △一部達成 ×未実施

資料3

実施事業		事業番号	取組内容	R3年度 (目標)	R3年度 (実績)		特記事項
分類	事業名				実績	達成状況	
D 『公共交通利用促進施策』	①モビリティ・マネジメントの実施	D-①	公共交通情報の提供等の利用促進啓発活動の実施	促進活動の実施	実施	○	利用促進を図るため、六町駅周辺（社会実験バス「フンブン号」）や東京女子医科大学附属足立医療センター周辺に乗り場案内を設置した。 また、区HPやSNSでの発信、広報誌で特集を組むなど、幅広い世代の方々に対し、新規路線などの周知を図った。
	②バス利用者へのサービス向上	D-②	①ICカード定期券の導入	導入検討	導入検討	△	未導入の事業者でICカード定期券やタッチ回数券の導入について検討を行ったが、費用対効果の面から導入が難しい状況である。 なお、ICカード定期券に加えて、モバイルSuicaやモバイルPASMOを導入している事業者もあり、バス利用者へのサービス向上を図っている。
			②乗継割引の導入	導入検討	導入検討	△	一部バス事業者において検討を行ったが、費用対効果の面から導入が難しい現状。 都営バスの乗継割引は、令和3年9月末をもって終了した。令和3年10月からは、都営バスに乗り継ぎする際にポイントを付与する新たなサービス（ToKoPo）が開始され、利用者の利便性向上を図った。
	③バス位置情報の提供	D-③	①インターネット上における位置情報の提供	導入検討	導入	○	足立区内で運行している7事業者のうち、未導入であった1事業者が令和3年12月から運用開始となり、全ての路線をインターネット上において、バス接近情報を確認することが出来ることとなった。
			②バス停におけるバスロケーションシステムの設置 (主要駅や公共施設周辺等のバス停)	1箇所	0箇所	△	当初、区役所前ロータリーのはるかぜバス停柱に位置情報を表示する予定であったが、都営バスの接近情報がオープンデータ化（二次利用が可能なルールで公開されたデータ）され、はるかぜと併せて表示することが可能となったため、バス停ではなく、本庁舎内出入り口付近にバスの接近情報を掲載したサイネージを設置することとした。方針転換に伴い、令和3年度中の設置には至らなかったが、令和4年度7月以降に設置できるよう、関係機関と調整を行った。 北千住駅に平成30年度に設置した、バスの接近情報を表示するバス停モニターの改修を行い、画面の大きさを1.8倍にすることで、利用者がより視認しやすいモニターとした。

事例
①

事業名：【A-1-④】踏切解消（竹ノ塚駅）

鉄道事業者と連携し、連続立体交差事業を実施

令和4年3月20日に、上下緩行線（普通列車）が高架化。これにより、竹ノ塚駅付近にある2箇所の踏切が解消した。
令和4年6月12日に、区立第十四中学校で「高架化記念式典」を開催。

現在の状況



ADACHI CITY **あだちから**
Go For 90th+100th

2022年(令和4年)
4月25日 第1878号

足立区
報道広報課
〒120-8510 足立区中央本町1-17-1
☎3880-5111(代表)
☎3880-5678
✉voice@city.adachi.tokyo.jp

お問い合わせコールあだち ~気軽に聞けます! 区の情報~
(毎日、午前8時~午後8時) ☎3880-0039 FAX3880-0041

あだち 広報

工事着手から約10年 踏切のない竹の塚 ついに実現

令和4年3月19日から翌朝にかけて竹ノ塚駅*を通る上下緩行線**の工事が行われ、4線すべての高架化が完了。平成24年から約10年の歳月を経て、2つの踏切が無くなりました。区民の皆様からいただいた意見が様々な点で反映された新駅舎も20日にオープンし、竹ノ塚駅と周辺地区の新たな時代が幕を開けました。

★1-町名は「竹の塚」、駅名は「竹ノ塚駅」と表記 ★2-各駅停車のこと
■視先= 区 鉄道関連事業課 立体化担当 ☎3880-5484

新駅舎外観 シンプルで開放的なデザイン

明るい構内 壁や屋根に光を透過する素材を採用

地下改札から運ばれてきた改札機を新駅舎に設置

エレベーター 20人乗りの大型 ストレッチャーにも対応

自然的な雰囲気 ホーム天井の一部に木材を使用

Before 平成23年撮影

中止 第44回 足立の花火 7月23日に出る予定していた「第44回 足立の花火」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止いたします。楽しみにしていた方には誠に申し訳ございません。

12 あだち広報 2022年(令和4年)4月25日(第1878号)

ポスターで振り返る 高架化の10年

竹ノ塚駅付近の2つの「開かずの踏切」。平成17年に人身事故が発生し、お2人が犠牲となりました。二度と悲劇を起こすまいと区や地域、東武鉄道などの関係者が協力しながら努力を続け、ようやく高架化が実現。事業の進捗をお知らせしてきた7枚のポスターとともに、竹ノ塚駅付近の鉄道高架化事業を振り返ります。
■視先= 区 鉄道関連事業課 立体化担当 ☎3880-5484

<p>竹ノ塚駅がおかげさまで高架化されました。ここまで温かく見守っていただき、心から感謝申し上げます。令和5年度末まで一部の工事は続きますが、安全第一に進めてまいります。</p> <p>東武鉄道 竹ノ塚駅長 飯塚 英樹さん</p> <p>踏切事故発生から約7年。23区で初めて足立区が高架化の事業主体に。</p> <p>平成24(2012)年 作成</p> <p>2013.5.15 高架化前の踏切</p>	<p>あがる はじまる 竹の塚</p> <p>平成24年、最初に下り急行線の高架化に着手。工事が本格的にスタートした。</p> <p>平成24(2012)年 作成</p> <p>2015.7.24 下り急行線高架化</p>	<p>ただ今 地下通路 掘っています。</p> <p>平成28年、仮設地下自由通路が開通。踏切を通らずに東西の行き来が可能になった。</p> <p>平成28(2016)年 作成</p> <p>2016.11.16 開通前の地下通路</p>
<p>地下改札 工事中。</p> <p>2017.10.4 地下改札設置後</p> <p>高架化のために橋上の駅舎を取り壊し、地下の改札から地上の仮設ホームへ向かう経路に。</p> <p>平成28(2016)年 作成</p>	<p>次は 上り急行線</p> <p>平成29年、上り急行線の高架化がスタート。営業線の全線高架化へ工事がさらに加速。</p> <p>平成29(2017)年 作成</p> <p>2019.4.8 建設中の橋桁</p>	<p>全部 あがるぞ! 竹の塚!</p> <p>新駅舎建設とともに、残りの上下緩行線*の高架化に着手。工事はいよいよ終盤に。★各駅停車のこと</p> <p>令和2(2020)年 作成</p> <p>2021.4.22 建設中の新駅舎</p>
<p>踏切のないまち 竹の塚</p> <p>令和4年3月20日、すべての営業線が高架化。2つの「開かずの踏切」がついに無くなりました。</p> <p>令和3(2021)年 作成</p> <p>2022.3.20 高架化後の踏切跡</p>		

「開かずの踏切」が無くなった夜

令和4年3月19日、午後10時ごろから翌朝にかけて上下緩行線の切り替え工事が行われました。

午前0時20分 地下改札から運ばれてきた改札機を新駅舎に設置	午前0時40分 線路切り替えのため、約10人で力を合わせレールを移動	午前2時50分 遮断機や警報機を取り除き、踏切を完全に撤去	午前4時50分 始発列車に先立ち、最終確認のため試運転を実施
-----------------------------------	---------------------------------------	----------------------------------	-----------------------------------

竹ノ塚駅周辺地区 まちづくり連絡会 会長 澤田 榮介さん

ようやく高架化が実現して、これほどうれしいことはないですね。これまで関わってきた全員が一生涯に頑張ってきたからこそだと思います。今後は、踏切による分断が解消された竹の塚地域を一体となって盛り上げていきたいです。

この下は広告スペースです。内容については、各広告主にお問い合わせください。広告掲載のお問い合わせは広報係へ ☎3880-5815

事例 ②

事業名：【A-2-①】拠点間バス路線等の維持・強化
 新たなバス需要が見込まれる東京女子医大開設に合わせてバス路線の新設や再編を実施
 東京女子医科大学附属足立医療センター開院に向け、4事業者8路線のバス路線新設・再編等を行い、令和4年1月4日に乗り入れを開始した。

事例 ③

事業名：【A-2-②】交通不便地域のバス路線導入
 検証運行実績等を基に、本格運行を実施
 令和3年10月1日より六町駅～花畑桑袋団地間で検証運行（最大2年間、2期連続で収支率24%をクリアすると本格運行へ移行）を開始した。

12 あだち広報 2021年(令和3年)12月25日(第1870号)

4年 1月4日 運行開始

東京女子医科大学附属足立医療センター (江北4-33)付近に停まるバスを紹介！

区内初の大学病院が、間もなく開院！今号では、病院へのアクセスに便利な停留所「東京女子医大足立医療センター」「東京女子医大足立医療センター前」に停まるバスを紹介します。くわしくは区のホームページをご覧ください。

■問先＝▷バス…(区)交通対策課 交通計画係 ☎3880-5718
 ▷大学病院…(区)衛生管理課 大学病院整備担当 ☎3880-5891

東京女子医科大学附属足立医療センター
 日暮里・舎人ライナー
 「江北駅」から徒歩約4分
バス停留所
 「東京女子医大足立医療センター」
 「東京女子医大足立医療センター前」
 下車すぐ(全8路線)

4年 1月5日 外来診療開始

受診には紹介状が必要です。事前にかかりつけ医にご相談ください。

バス転回場 (東京女子医大足立医療センター/全5路線)
 東京女子医科大学附属足立医療センター

バス停留所 (東京女子医大足立医療センター前/全3路線)

北千住駅から乗れるバス	西新井駅から乗れるバス
東武バス 北05	東武バス 西08
千住桜木	西新井駅前
扇大橋駅前	江北陸橋下
扇三丁目	江北小学校前
江北陸橋下	医療センター
医療センター	国際興業バス 赤27
新日本観光自動車 是るかぜ6号	赤羽駅前
北千住駅西口	鹿浜橋
桜木町	医療センター
センター前	西新井大師
鹿浜の花中学校	西新井駅前
鹿浜五丁目団地	江北陸橋下
扇大橋の中学校	江北小学校前
扇三丁目	医療センター
加賀団地	扇三丁目
扇大橋の中学校	東武バス 王30
扇大橋駅前	王子駅前
扇大橋	鹿浜橋
西新井大師前	医療センター
足立区役所	加平橋
都営バス 里48-2	亀有駅北口
日暮里駅前	
足立小台駅前	
センター前	
扇大橋の中学校	
加賀団地	
扇大橋駅前	
扇大橋	
西新井大師前	
足立区役所	
都営バス 里48-3	
日暮里駅前	
足立小台駅前	
センター前	
扇大橋の中学校	
加賀団地	
扇大橋駅前	
扇大橋	
西新井大師前	
足立区役所	
都営バス 王49	
王子駅前	
鹿浜橋	
医療センター	
西新井大師前	
足立区役所	
都営バス 里48-2	
日暮里駅前	
足立小台駅前	
センター前	
扇大橋の中学校	
加賀団地	
扇大橋駅前	
扇大橋	
西新井大師前	
足立区役所	
都営バス 里48-3	
日暮里駅前	
足立小台駅前	
センター前	
扇大橋の中学校	
加賀団地	
扇大橋駅前	
扇大橋	
西新井大師前	
足立区役所	
都営バス 王49	
王子駅前	
鹿浜橋	
医療センター	
西新井大師前	
足立区役所	

※主な停留所のみ掲載。停留所名は「東京女子医大足立医療センター」を「医療センター」、「東京女子医大足立医療センター前」を「センター前」に省略

ADACHI CITY

2021年(令和3年) 12月10日 第1869号

あだち広報

毎日、便利。そして、ときどき

バスさんぽ

花畑桑袋団地～六町駅

社会実験バス運行中！

花畑周辺地域の交通利便性向上のため、新しいバス路線で2年間(10月～5年9月)の社会実験★を実施中です。毎日の通勤・通学やお買い物に便利になるのはもちろん、大人も子どもも楽しめるスポットがたくさん！今号ではおすすめスポットなどを紹介します。

★2年間で本格運行へ移行するかを判断。本格運行には1便あたり5人以上の乗車が必要(1人あたり220円換算)

問先 (区)交通対策課 交通計画係 ☎3880-5718

この表示が目印！

社会実験バス運行中

撮影場所：花畑記念庭園(桜花亭)前

くわしくは6・7面へ

事例 ④ 事業名：【A-1-②】鉄道の延伸促進（地下鉄8号線）
 実現に向けた地域機運の醸成を図るため、イベント等でのPR活動を実施



PR活動を予定していた大型イベントが中止となってしまったが、新たな試みとして計画線沿線の公共施設（佐野図書館）と連携したPR展示を実施した。

事例 ⑤ 事業名：【B-⑥】交通安全教育
 ①幼稚園・保育園で正しい道路の歩き方等を学んでもらうため、交通安全教室を実施
 ②小学校において、小学三年生を対象とし、「自転車安全運転免許証発行事業」による交通安全教室を実施



①区内の全170園の幼稚園・保育園において、区より交通安全教室実施の募集を行い、希望のあった77園（実施率45.2%）の区内保育園・幼稚園にて実施。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった園もあったことから、実施できなかった園については、反射材を配布した。
 ②区内小学校全69校において、小学三年生を対象とした、「自転車安全運転免許証発行事業」による交通安全教室を実施。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためリモート講義や動画視聴を活用するなど新しい生活様式に合った方法で実施した。令和4年度は新型コロナウイルス対策を講じた上で、従来の対面で実施予定。

事例 ⑥ 事業名：【A-1-③】混雑緩和対策（つくばエクスプレス）
 8両編成化事業を実施（現6両）



8両編成化に向け、浅草駅、南千住駅の駅ホーム延伸工事を行った。なお、区内の駅については、令和4年度から青井駅、六町駅のホーム延伸工事を進めていく。

事例 ⑦ 事業名：【B-④】自転車シェアリングの拡充
 シェアサイクルを導入



令和4年3月末時点の区内サイクルポート数は116か所となり、令和2年2月末の59か所から約2倍に増え、ポート数の増加に伴い月平均利用回数も令和2年2月の3,629回から21,655回へと約6倍に増加した。令和6年3月末までにさらにサイクルポートを106か所増設し、ネットワークの充実を図る。

事例 ⑧ 事業名：【C-①】都市計画道路等の整備
 区画街路14号（西竹の塚二丁目）



令和3年9月13日付で事業期間を令和7年3月31日まで延伸した。事業用地1件を取得し、用地取得率が99%となった。また、都市基盤整備として、電線共同溝整備工事を完了した。

事例 ⑨ 事業名：【C-②】駅前広場の整備
 北綾瀬駅



北綾瀬駅前広場整備の都市計画決定（R3.4.19）し、事業認可を取得（R3.9.8）した。令和6年春頃の完成を目指し、事業着手した。